

報道関係者 各位

2013年5月10日
NPO 法人 マミーズサミット・全国ネット
株式会社フラウ 主婦生活総合研究所

マミーズサミット・全国ネット調べ 「育児休業三年抱っこし放題」ママたちはどう考えてる？ 緊急！育休アンケート結果速報 「抱っこし放題」よりも「選択し放題」の働き方を！！

「子づれ DE CHA・CHA・CHA！」をはじめとした、地域密着の子育て情報誌の発行や、主婦をターゲットとしたマーケティングを行う株式会社フラウ 主婦生活総合研究所(福岡市中央区、代表取締役社長:濱砂 圭子)は、先月安倍総理が打ち出した「三年育休」についてNPO 法人マミーズサミット・全国ネットを通して全国の子育て中のママたちへ緊急当事者アンケートを実施しました。

調査の目的

育児休業が三年になると、出産や育児で退職する人は減るのでしょうか？
そもそも、現在子育て中のママはどのくらい育児休業取得経験があるのか、そして、どうすれば働き続けられるのか。当事者の声をまとめ、よりよい育児休業制度の提案につなげていきたいと考えています。

調査結果概要

約半数のママが延長に賛成、しかし(二年以上)三年育休取得を希望するのは約2割

1. 育休三年 賛成は 49.7%。約半数のママが評価している。
2. 育児休業取得の現状としては、「育児休業制度がなかった」(30.2%)、「育児休業制度があつたが取得せず」(19.2%)、「産前産後休業のみ」(2.9%)など、半数以上の人取得した経験がなかった。
3. 取得しなかった人に理由を尋ねると、「会社に制度がなかった」(50.3%)という意見が最も多く、「育児休業制度を利用できる雇用形態ではなかった」(17.8%)やフリーアンサーの意見から、パートなどの非正規雇用者向けに制度が用意されておらず、「出産前に退職した」(44.1%)という理由に繋がっていることがうかがえた。
4. 「育児休業制度を利用できる勤務状況ではなかった」(18.4%)という意見も見られ、上司や同僚に対する引け目を感じており、制度があっても取得できない状況に繋がっている。
5. 育児休業を取りやすくするための制度や仕組みについては、「上司の理解」(53.8%)「同僚・後輩の理解」(49.5%)が必要という回答が多く、「経済的支援」(48.3%)や「保育制度」(48.6%)を上回った。期間の延長や経済的支援以上に、職場の理解を深める仕組みが必要と考えられる。

調査対象:NPO 法人マミーズサミット・全国ネット各団体に登録した子育て中のママ約 18000 人
(静岡、滋賀、京都、香川、徳島、山口、福岡を中心とした全国の子育て中の会員)

実施期間:4月25日(木)~5月2日(木)

調査方法:メルマガ会員、登録会員によるインターネット調査

回答数 :1032

協力 :株式会社 Mammy Pro、株式会社ふじやまママ、ピース맘、家事塾、NPO 法人亀岡子育てネットワーク、NPO 法人わははねっと、NPO 法人子育て支援ネットワークとくしま、よんよん隊



【本件に関するお問い合わせ・取材のお申し込み】

株式会社フラウ主婦生活総合研究所

TEL092-751-8830 FAX092-751-8831

Email yamagata@frau.co.jp 担当:山形(やまがた)

平成 25 年 5 月 1 日創刊 20 周年を迎えました！

